



知っていますか？ 鹿屋の囃託警察犬

任せてワン！ 見つけるワン！

今年はいヌ年。
安全安心な一年に――。



⑥鹿屋市の囃託警察犬訓練指導者と囃託警察犬＝左から谷口芳久さん（郷之原町）・マリノ号、岩元勇一さん（輝北町市成）・バートン号・エンジョイ号、上野利津子さん（吾平町上名）・カーラ号、柳井谷良二さん（新川町）・ヤンナ号 ※柳井谷さんは、ほかにベルキス号も所有

①捜索救助訓練の様子。障害物の中に人がいることを知らせる ②③足跡追及訓練の様子。特定の人間の臭いをかぎ分ける
④犬を並列させての訓練は、周りに惑わされないようにするための大事な訓練 ⑤訓練時に旧百引中学校入口に掲げられる標識

事件・事故で活躍する警察犬

ニュース報道などで目にする警察犬。警察犬とは、人間の100万倍とも1億倍ともされる嗅覚で、犯人追跡や行方不明者の捜索などを行う犬のことです。

警察犬には、都道府県警察が飼育・訓練している「直轄警察犬」（以下、直轄犬）と、民間で飼育・訓練されている「囃託警察犬」（以下、囃託犬）がいます。

全国には直轄犬が約170頭、囃託犬が約1,300頭おり、そのうち鹿児島県内には、現在、3頭の直轄犬と、28頭の囃託犬が活動しています。毎年、鹿児島県警による審査会が開かれ、合格した犬が、囃託犬として委嘱されます。鹿児島県では、小型犬から大型犬まで、犬種を問わず、受験資格があるのが特徴です。

囃託警察犬訓練指導手

囃託犬の所有者は、「囃託警察犬訓練指導手」（以下、指導手）と呼ばれます。新川町在住で、現在、鹿児島県囃託警察犬訓練指導手会の会長を務める柳井谷良二さんによると、「現在、県内の指導手は19人。このうち市内には4人の指導手があり、この指導手のもと、6頭の囃託犬が飼育され、訓練が行われています」。なお、県警からの要請による出動には謝金が出ますが、通常は全くのボランティア。餌代や予防注射代、訓練費用、指導手の制服代等、日頃の囃託犬にかかる費用はすべて指導手の自己負担です。

の。ただで訓練していると、草地やアスファルトではかき分けできません。また、捜索救助でも、日頃訓練していない瓦礫や原野が現場だと思ってしまうかもしれません。実践に強い囃託犬を育てるには、市民の皆さんのご理解とご協力が必要なのです」

犬と人のチームプレイ

昨年11月、天皇后陛下の鹿児島県行幸啓に際しては、警備警備のために県内から5頭の囃託犬が出動。そのうちの2頭は、鹿屋市の囃託犬（柳井谷さんのヤンナ号と、上野利津子さんのカーラ号）が選ばれました。

5日間、囃託犬とともに任務に当たった柳井谷さんは、「どんな現場でも囃託犬と指導手が人犬一体となり、現場に出ます。囃託犬と指導手のチームプレイで捜索が行われるのです。犬の気を感じることが大事です」と熱く語ります。



鹿児島県囃託警察犬訓練指導手会
会長 柳井谷良二さん
※指導手に興味のある人はご連絡ください。
☎ 0994-44-6461

訓練場所に学校跡地を活用

毎日の訓練は、いつ派遣要請があっても出動できるようにするための備え。

「しかし、どこでも訓練ができるわけではありません。私は人が少ない早朝に、肝属川の河川敷で訓練を行っています。訓練場所に悩む指導手が多いのが実情。そんな中、昨年7月から、市の協力により、旧百引中学校跡地（輝北町上百引）でも訓練できるようになりました。ここでは、月2回程度、警察犬としての訓練と、IPO（ヨーロッパ式訓練法）のトレーニングを行っています。また、昨年10月には、株式会社三和物産様の所有地を借りて、鹿屋で県内全域の合同訓練も行うことができました。本当にありがたいことです」と、柳井谷さん。

足跡追及訓練と捜索救助訓練

囃託犬は指導手の左横に付いて歩く「脚側行進」と、指導手の指示どおりに動く「服従訓練」が基本。その上で、足跡追及や捜索救助などの訓練を行います。「足跡追及は、人の臭いと、地面に付いた微生物の臭いとの混合臭を追うも

指導手としての誇り

高齢化が進む日本では、認知症不明者が急増しており、警察犬の不足が問題になっていきます。柳井谷さんも、「指導手の高齢化」と「なり手不足」を懸念します。「警察犬としてだけでなく、競技会に出場したり、犬と一緒にスポーツを楽しむんだり、様々な可能性があるのです。興味がある人はぜひ連絡してほしいです」

また、行き場の無い多くの犬猫が殺処分されている現状にも目を向けます。「訓練技術が進んでいるドイツでは殺処分が無いと言われます。訓練で少しでも楽に飼える犬が増え、殺処分される犬が減ることを心から願います」

そして、柳井谷さんをはじめ指導手の皆さんは口をそろえます。「この訓練が有事の際に役立てば」。その言葉には、指導手としての誇りと、パートナーである犬への愛情と信頼が伺えます。

INTERVIEW



囃託警察犬訓練指導手
岩元 勇一さん

いざという時に 日頃の訓練が役立つ 〜平成28年に行方不明者発見〜

囃託犬を2頭飼育しています。9歳と3歳、いずれもオスのシェパードです。毎日、朝夕1時間程度ずつ訓練をしています。訓練を毎日毎日こなすのは厳しいことですが、愛情を持って接し、犬と一体となるのが大切だと思います。

平成28年5月、市内で行方不明者の捜索が行われた際は、私の囃託犬2頭が出動し、捜索開始から約3時間後に、無事に探し出すことができました。

これも日頃の訓練の成果。これからも少しでも地域に貢献できたらと思っています。